

個票 17 低水期の生息・生育空間の確保〔農 2(2)②15-3〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	多様な水辺環境の保全・創出		
配慮事例	工法の工夫による多様な生息・生育環境の創出		
内容	<p>●低水期の生息・生育空間の確保</p>		
	<p><b>【解説】</b> 水深や流速の検討にあたっては、水路の年間を通した流量状況を確認し、最大流量や最小流量等について、生物の生息・生育に適した水深・流速の確保を検討します。特に、最小流量時又は非かんがい期に、生息・生育に必要な水深を確保できるか否かは、環境との調和に配慮した水路整備の可能性を左右する基本的条件であり、検討は不可欠です。</p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <p>●複断面水路 水路底の中央に深みを設置し、低水期の水場を確保します。</p> <p>●深みの設置 一定区間の水路底に深みを設置し、低水期の水場を確保します。</p>		
	<p><b>【事例 1】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="284 1346 871 1740">  </div> <div data-bbox="893 869 1449 1088">  </div> </div> <div data-bbox="903 1361 1449 1532" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【場所】</b> 岡山県備前市大用水</p> <p><b>【環境配慮の内容と方法、工法】</b> ・水路での深みの設置</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">出典:1</p>		

**【事例 2】**



出典:1

**【場所】**

秋田県駒場北地区

**【環境配慮の内容と方法、工法】**

保全対象：イバラトミヨ

改修水路における配慮工法のみでは  
個体群の存続が危ぶまれたため、水路の一部を拡張し、繁殖場となる保全池（代償池）として整備。

留意点

・非かんがい期は水量の減少等により、水路内の水質が極端に悪化する場合がありますので留意する必要があります。

参考資料

- 1 「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き（第3編）『ほ場整備（水田・畑）』」食料・農業・農村政策審議会、農村振興分科会、農業農村整備部会、技術小委員会 p 105